

<研究報告書書式>

年 月 日

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
_____年度 助成事業研究報告書

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団殿

研究者所属/役職: _____

氏名: _____

本助成事業による研究について、次のとおり（完了報告/中間報告）いたします。

1. 研究課題名
2. 研究実施期間 _____年4月1日～_____年3月31日
3. 助成金額 金100万円
4. 研究目的
5. 研究成果の概要
6. 研究成果の発表について（論文発表・口頭発表・著書など国内外問わず全て）
7. 助成金会計報告

【記載要領】

原則として、所定の研究報告書書式を使用し、以下の要領に従って記載ください。ただし、記載項目に変更がなければ、Word などを使用し、任意の書式で作成しても差支えないものとします。

<完了報告・中間報告の別>

完了報告・中間報告の別を選び、該当しない方を削除ください。助成対象の研究が完了した場合には完了報告、予定期間を超えて継続研究となる場合には、中間報告を選択ください。

<1 研究課題名>

原則として、助成金申請書に記載したものをお書きください。助成後に変更があった場合は、その旨と変更後の課題名もあわせてお書きください。

<2 研究期間>

助成金申請書に記載した期間をお書きください。ただし、継続研究の場合は、おおよその終了予定期間を併記し、お知らせください。

<4 研究目的>

貴殿でまとめたものをお書きください。字数は問いません。

<5 研究成果の概要>

できるだけまとめてお書きください。(例：●●の解明に努め、研究を進めたところ○○の発見に至り、このことから▲▲は△△であるという結論に至った。)

なお、継続研究となった場合も、中間報告として記載頂きます。内容につきましては、結果が出ていない場合においても、その途中経過を詳細に記してください。(例：●●の解明に努め、現在○○の発見に至るも、一部▲▲な部分があるため、現在△△につき、研究を進めている。)

※中間報告の場合は、研究完了時に再度同様に、当財団へ研究報告書を提出して頂きます。(論文等のかたちで結果を発表された場合は、研究報告書に代えて論文等の写しのご提出でも結構です。)

<6 研究成果の発表について>

国内外問わず論文・口頭・著書など、研究成果を発表されたものがありましたら、タイトルとその方法をお書きください。(例：著書 ○○による△△の新規治療開発について) また、その際の記録や論文などは、そのコピーを添付してください。

ただし、口頭発表などで記録がない場合は、第〇回 〇〇学会など発表した方法を特定できるようにお書きください。また、今後発表する予定があるものも含めてお書きください。

< 7 助成金会計報告 >

例えば、学術費・研究材料費・通信費・交通費など大きな項目に分けて、その合計金額をまとめて記載して頂ければ結構です。(細かく月日に分けての出納表や領収書などの添付は必要)。また、残金がある場合は、翌年に繰り越しとして継続研究費として記載してください。

【作成・提出に際しての注意事項】

当財団ホームページにも記させて頂いておりますが、助成対象となられた皆様には、当財団事務局へ研究成果に関する報告をして頂くことになっております。当財団の所管官庁である内閣府からも助成先からの研究報告書の適切な管理と助成対象研究の成果についての公表を指導されておりますので、必ずご提出くださいますようご協力の程、何卒よろしくごお願い申し上げます。

何かご質問がありましたら、当財団事務局（担当：佐藤）までご連絡ください。

※電 話 : 0465-32-7526

F A X : 0465-32-1177

(受付時間：月火水金曜日の午前9時～午後5時まで)

E-mail : jimukyoku@rfeda.or.jp

不在時は、折り返しご連絡致しますので、伝言を残して頂けますようお願い致します。

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団

理 事 長 佐伯 宏三

事務局長 佐藤 貴子